



市中病院での特定ケア看護師の役割

横須賀市立市民病院 菱沼民子

特定ケア看護師を目指した理由

看護師免許を取得し、十数年が経過し、横須賀市立市民病院が民営化に移行したころ、患者の受け入れ制限が始まり、活気があった救急外来が静かになり、クリニックの時間外状態に陥りました。私は三浦半島で生まれ、育ち、いったんは横浜の病院で勤務していましたが、やはり地元の居心地の良さに惹かれ、当院に再就職していました。この地元のために看護師として何かできないかと思うようになったころ、心の底から尊敬できる医師が赴任してきました。その影響もあり救急看護認定看護師（以下、CN）を目指し、進学、救急看護認定看護師を取得しました。その医師の活動により、患者受け入れ体制が大きく変化し、診療科も増え、救急外来も活気を取り戻すことになりました。CNとしても院内での急変時対応研修の充実などを目指し活動することができました。患者さんを看られる楽しさや協力してくれる医師の存在などあり毎日が充実していました。

しかし、患者急変した際、CNとして患者の状態を把握し、アセスメントできますが、エコーや直接動脈穿刺による血液ガスなどの検査を実施したりなどの直接行為はできません。医師にタイムリーに状況を伝えますが、うまく伝えられなかったり、医師が検査や手術、外来など多忙によりタイムリーな対応ができず、患者さんの命を救うことができなかった症例を沢山みてきて悔しい思いもしました。私の中で、救える患者さんは救いたいという気持ちがあります。どんなに素晴らしい治療法があっても救えない

患者さんもいます。患者・家族に寄り添うことができるのは看護師だと感じているので、臨床推論を駆使し、21区分38の行為を学ぶことができれば、もっと患者・家族に寄り添った看護・医療が提供できるのではないかと、一住民として何か地元のために貢献したいという思い、看護部長からの推薦もあり特定ケア看護師を目指しました。

自施設における特定ケア看護師の役割

私は看護部所属でICUに勤務をしています。基本的にはICU患者の臨床推論、特定行為を実施しています。入室されている患者の経過や検査DATAを把握し異常があれば担当医と情報交換を行い、患者が必要な処置をタイムリーに受けられるように介入を行っています。その詳細は検査オーダーや処方などをすべて代行入力で行っています。科によっては人員が少なく手術の助手や検査の助手をしたり、気管挿管患者で、抜管予定であるが再挿管が予測される患者さんにBestが尽くせるよう環境調整の対応を医師から依頼されることもあります。

ほかには一般病棟で看護師から困っている症例など依頼を受け、担当医と情報交換を行いながら対応をしています。時には、特定行為とは関係のない依頼もありますが、看護師が困っていることはできるだけ対応できるようにしています。

施設によって特定ケア看護師の役割は変化すると思いますが、NDC研修センターで、患者・家族にどれだけ、必要な内容をタイムリーに実



横須賀市立市民病院

施できるか、大切な命を守るために特定ケア看護師は医師、看護師、コメディカルと共に尽力することの大切さを指導していただいたと思っています。

今後の課題

現在、当院では全ての特定行為が実施できる特定ケア看護師は私だけです。院内に1人では限界があり、満足して患者・家族に対応できている状況下ではないと感じています。もっと特

定ケア看護師が増えることで、急性期、亜急性期の患者・家族に信頼してもらえる看護や医療を提供できると思うので、魅力のある特定ケア看護師を職員に見せることができるよう広報活動に努めていきたいと思っています。また、ICUスタッフとして勤務する日もあるので、他病棟の依頼などを同時に実施していくことは大変な日もあります。自分が一生懸命介入した分だけ自分に返ってくると信じているので、日々努力と謙虚さを保ち頑張っていきたいと思っています。